

注意点1



右手

2本指タッピングを加えた超高度なスウィープ

イントロは、スウィープからタッピングに流れる王道的な超絶技だ。ただし、ここではタッピング時に右手の2本指を使うので難度が高い。ポジションはBmトライアドの基本形で、まず5弦から1弦にスウィープで上昇し、小指で1弦14フレットをハンマリング(写真①)。この時に次のタッピングの準備を瞬時に行なう。そして、右手中指でタッピング(写真②)し、その右手中指の押弦をキープした状態で、薬指のタッピングをする(写真③)。右手薬指のタッピングは力が入りづらいので、写真②の時に少しでも高いところから指を振り下ろすように意識すること。そのあとは、右手薬指で弦を引っ掛けるようにブリングしよう(写真④)。



1弦14f押弦時にタッピングの準備に入ろう。



19fを中指でタッピング。薬指は21f上空で待機させる。



薬指のタッピング時に中指は離さないこと!



薬指でブリングし、19fの中指につなげる。

注意点2



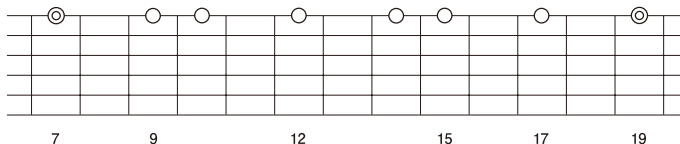
理論

メタル系1本弦フレーズは人差指の動きが肝になる!

④5～7小節目は、速弾きメタル・ギタリスト御用達の1本弦フル・ピッキング・フレーズ【註】だ。1本弦フレーズは、横移動が激しいので、移動するポジション＝スケールの形を覚えておく必要がある(図1)。このフレーズはBナチュラル・マイナー・スケールでできているが、まずは1オクターブ分のポジションを頭に入れておこう。フレーズの区切りは、16分音符4音ずつ＝人差指で始まり人差指で終わるので、常に人差指を先頭にして移動していく。人差指の動きがルーズになると、スピードについて行けなくなるので注意しよう。

図1 Bナチュラル・マイナー・スケールの1本弦フレーズ

◎トニック=B音



注意点3



右手

2弦を弾いたあとは1弦にピックを当てて待機!

④5小節目を解説しよう。ここはアップ・ピッキングから弾き始めるが、各拍の3、4音目の2弦から1弦へのピッキングは“ダウン・ダウン”というエコノミー・ピッキングになる。エコノミー・ピッキングの注意点は、2弦をダウンしたあとにピックを振り上げないこと(図2)。オルタネイトのアップの空振りのように弾くと無駄な動きが多くなるので気をつけよう。併せて、2弦をダウンで弾いた直後は、ピックを隣の1弦に当てて、次のピッキングまで待機するように心掛けること。ゆっくりとしたテンポからでもよいので、“2弦ダウン→待機→1弦ダウン”という流れを確実に右手に覚え込ませよう。

図2 エコノミー・ピッキングの軌道

ダメなパターン

良いパターン

